

2. 環境科学課（廃棄物）

非定期業務として、ごみ処理施設及び関係課からの依頼による試験検査及びその他の調査を行った。

1) 廃棄物資源化担当

平成 24 年度に行った非定期業務は、関係課からの依頼による試験検査及びその他の調査である。検体数及び延べ項目数は表 1 のとおりである。

表 1 廃棄物資源化関係試験検体数

区 分	検体数	延べ項目数
行政からの依頼による試験検査		
事業系ごみファンドに 関する試験	3	36
カキ堆肥化に関する調査	11	180
その他の調査		
空きびん・ペットボトル収 集袋中の組成に関する調査	8	350
計	22	566

(1) 行政からの依頼による試験検査

①環境局循環型社会推進部事業系ごみ対策課依頼試験

事業系ごみ資源化推進ファンドを活用した事業系食品リサイクル支援モデル事業に関連した食品残渣の堆肥化物等について成分分析を行った。

②環境局環境監理部環境調整課依頼試験

カキ礁から取り除いたカキの有効利用を目的として木材チップと混合した堆肥化物などについて調査及び成分分析を行った。

(2) その他の調査

自主的な調査研究として、空きびん・ペットボトル収集袋中の組成及び排出状況調査を行った。

2) 廃棄物処理施設担当

平成 24 年度に行った非定期業務は、ごみ処理施設等からの依頼による試験検査及びその他の調査である。検体数及び延べ項目数は表 2 のとおりである。

表 2 廃棄物処理施設関係試験検体数

区 分	検体数	延べ項目数
ごみ処理施設等からの依頼 による試験検査		
清掃工場・資源化センター	371	2,160
埋立場	343	1,741
し尿中継所	39	165
その他の調査		
排水処理に関する調査	16	96
計	769	4,162

(1) ごみ処理施設等からの依頼による試験検査

清掃工場、資源化センター、埋立場及びし尿中継所からの依頼により、施設の運転管理等に関する試験検査を行った。

依頼が多かった試験検査は、使用薬剤の適正注入量の検討や薬剤の選定に関するもの、大雨時の埋立場堤内貯留水の水質に関するものであった。

(2) その他の調査

①排水処理に関する調査

排水処理における凝集剤の適正注入について調査を行った。